



関西初!生駒の子育てアプリを作ろう アイデアワークショップとハッカソンを開催します ～ワークショップは世界オープンデータ日の2月21日(土)～

生駒市での子育てをさらに充実させるために、アプリ開発を目指す取組を進めています。第1回目のワークショップを昨年10月18日に開催。30代を中心に32人が集まり、子育てに関してどんな情報があればいいかを話し合いました。このアイデアをもとに、2月21日(土)には世界各地で開催される国際・オープン・データ・デイ2015の国内開催地としてアプリやWebサイトのコンテンツ(中身)を考えるワークショップを、3月1日(日)に試作品の開発を行うハッカソンを実施します。開発した試作品はCODE for JAPAN代表理事の関治之さんらによって審査を行い、入賞作品を決定します。

企画・運営はデータとITを活用しながら生駒市の地域活性化を目的に活動するCODE for IKOMAの皆さんです。

子育てアプリアイデアワークショップ vol.2

- ▶とき 2月21日(土)10:00～16:30
- ▶ところ 生駒市コミュニティセンター(生駒市元町1丁目6-12)
- ▶必要品 筆記用具(昼食は各自で準備)

子育てアプリハッカソン

- ▶とき 3月1日(日)9:30～18:00
- ▶ところ 奈良先端科学技術大学院大学(生駒市高山町8916-5)
- ▶必要品 筆記用具、アプリやwebサイトの開発環境(ある人だけ)

▶注意

- ・試作品のうち、市が優秀であり製品としての開発が可能か検証のうえ、製品化が必要と判断したものは、市が有償で買い取り知的財産権を有することとなります。それ以外は自由に使用できることとします。
- ・昼食は各自で準備してください。1人1,000円(税込み)で「iko mama bento」も用意します(2月7日(土)までに要申込)
- ・生駒市ホームページ→市民活動推進センターにアクセスし、諸注意に了承の上、参加してください。



どちらのイベントも無料!対象と申し込みはこちらです。

- ▶対象 生駒市で子育て中の人、これから生駒市での子育てを考えている人、アプリ開発やITに関心のある人
- ▶定員 40人(託児(1歳以上、定員10人)・手話通訳・要約筆記あり、2月7日(土)までに要申込み)
- ▶申込み・問合せ 電話かファクスで住所、氏名・ふりがな、年齢、電話番号を明らかにして、参加するイベント(アイデアワークショップ/ハッカソン)、IT技術者は専門分野(プランナー/デザイナー/エンジニア)、託児希望などの有無を明らかにして、市民活動推進センターららポート(☎0743-75-6000、FAX0743-75-0151、電子メールアドレスlalaport@city.ikoma.lg.jp)。応募フォームもあります。生駒市ホームページ→市民活動推進センターのページから申し込んでください。